

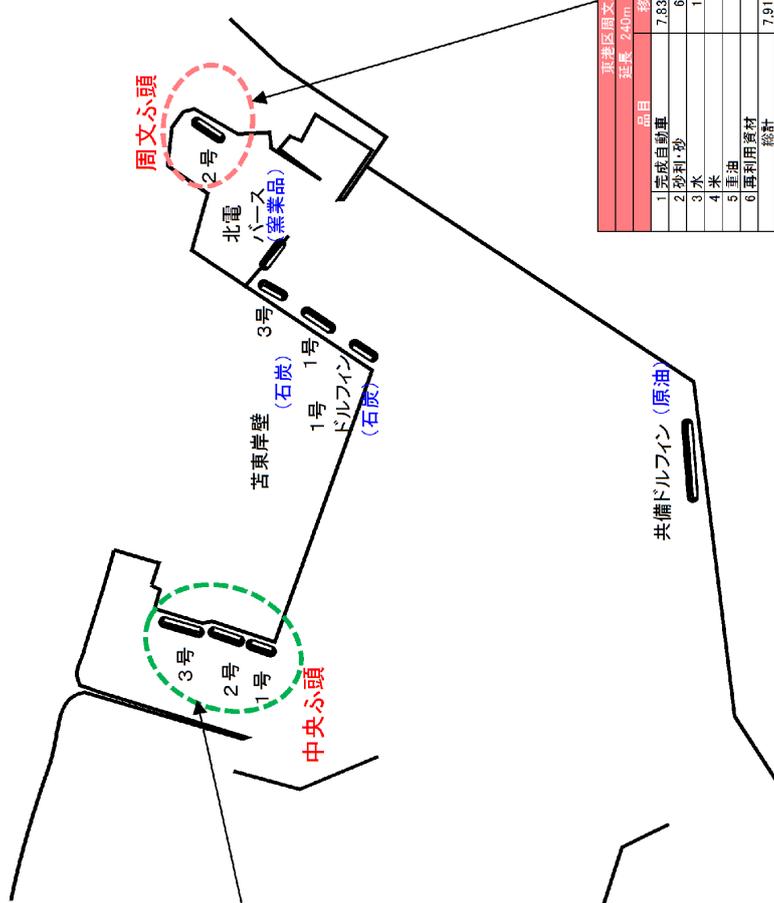
參考資料

---

東港区中央ふ頭1号岸壁		
品目	移入	合計
1 盛材	1,019	1,019
総計	1,019	1,019

東港区中央ふ頭2号岸壁					
品目	延長 240m		水深-12m		合計
	輸出	輸入	移出	移入	
1 水産品	54,756	38,481	6,316	17,511	117,064
2 動植物性製造飼料	458	44,075	748	22,956	88,237
3 製材	242	53,952	243	12,415	66,852
4 自動車部品	35,026	2,441	19,887	334	57,688
5 衣服・身用品・はきもの	14,268	42,781	16	14	57,079
6 医薬品	22,202	24,116	0	70	46,388
7 その他日用品	12,448	27,173	85	3,918	43,624
8 紙・パルプ	34,462	1,099	2,652	2,362	40,575
9 非鉄金属	9,688	28,930	181	336	39,135
10 窯業品	0	31,162	1,032	35	32,229
その他	36,242	353,145	22,010	37,986	449,383
総計	219,792	647,355	53,170	97,937	1,018,254

東港区中央ふ頭3号岸壁					
品目	延長 330m		水深-14m		合計
	輸出	輸入	移出	移入	
1 製材	419	190,951	256	10,130	201,756
2 動植物性製造飼料	548	104,458	548	6,756	112,310
3 水産品	57,169	40,604	2,169	3,188	103,130
4 紙・パルプ	58,364	5,290	1,806	1,720	67,180
5 自動車部品	48,702	6,253	6,292	416	61,663
6 その他日用品	10,605	44,404	326	2,505	57,840
7 漆	101	45,609	1,730	1,954	49,394
8 衣服・身用品・はきもの	12,270	36,624	0	14	48,908
9 医薬品	16,899	28,962	84	0	47,945
10 非鉄金属	9,474	32,577	101	0	42,152
その他	62,998	461,981	12,238	21,263	598,480
総計	279,549	997,713	25,550	47,946	1,390,758



東港区周文ふ頭2号岸壁			
品目	延長 240m		合計
	移出	移入	
1 完成自動車	7,838,890	8,235,075	16,073,965
2 砂利・砂	60,370	103,595	163,965
3 水	15,960	0	15,960
4 米	4,668	0	4,668
5 重油	0	1,500	1,500
6 再利用資材	0	632	632
総計	7,919,888	8,340,802	16,260,690

図参-1 東港区埠頭別貨物取扱状況(平成25年)

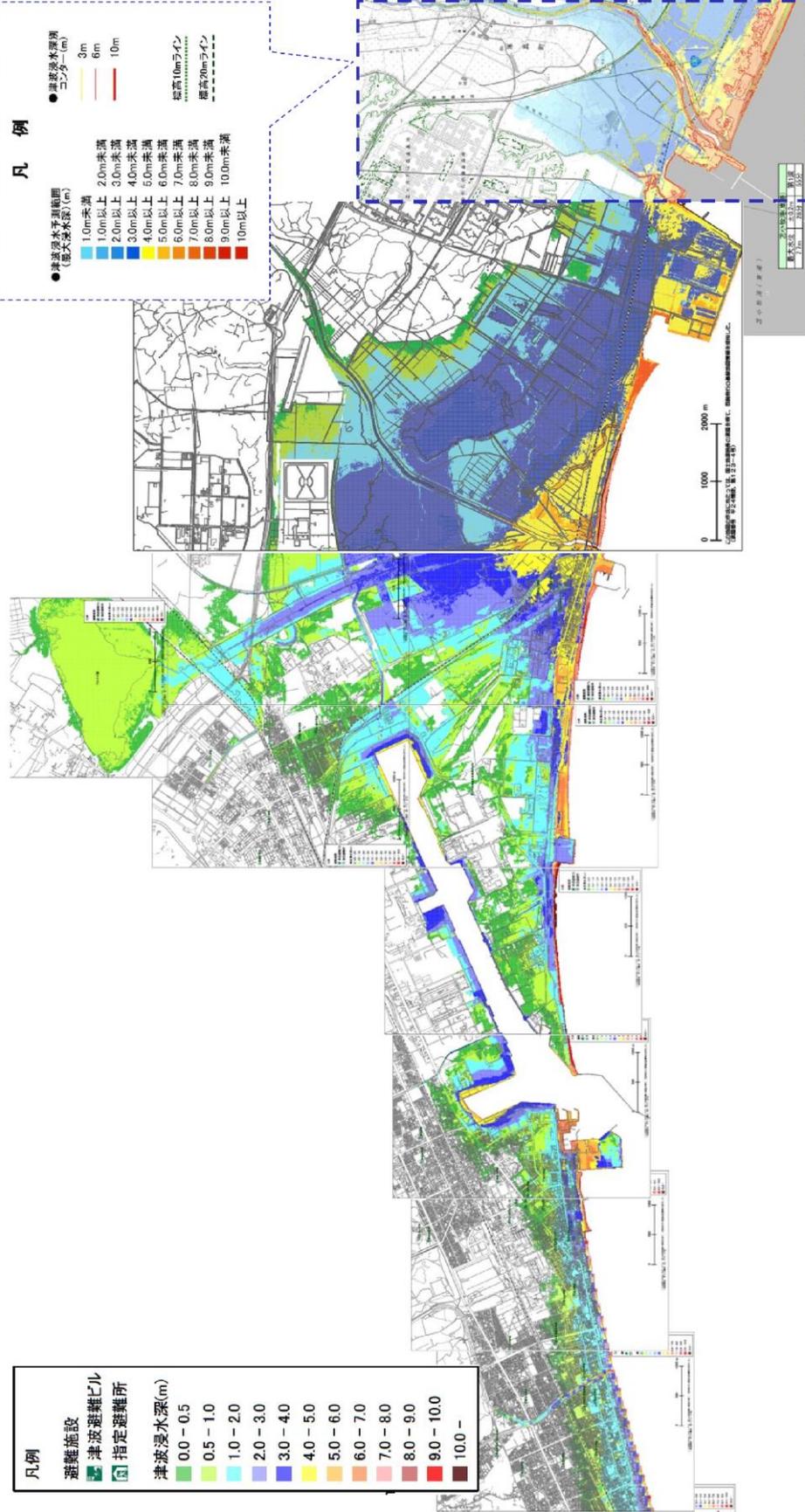






# 津波ハザードマップ

苫小牧市防災ハンドブック（平成25年3月）・厚真町 津波浸水予測図（平成24年）



図参-5 津波ハザードマップ

## ● 苫小牧港港湾 BCP 策定協議会関係者 東日本大震災経験談

協議会の中で、出席者の中から、東日本大震災の際の経験談が語られた。こうした経験は、時が経つとともに忘れられがちであるため、今後の教訓の意味も込めて、各自の体験をここにまとめておくこととする。

### <東日本大震災概要>

- ・2011年3月11日14:46頃、三陸沖を震源とするM9.0の地震が発生。苫小牧港が位置する苫小牧市と厚真町では、震度4が観測された。
- ・この地震により、北海道太平洋沿岸西部には大津波警報が発令され、苫小牧港東港で最大2.46m以上の津波を観測。
- ・苫小牧港では、西港区や東港区の一部で、浸水するなどの被害が発生した。

表参-1 協議会参加団体の体験談

団体名		被災内容
1	(一社)苫小牧建設協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生後、河川等の状況確認のために部下を見回りに行かせたが、後から考えると危険な状況にさらしたと思う。被害状況などの情報収集を行う場合、危険も伴うことを再認識すべきだろう。</li> <li>・また建設協会としては、この20年間に会員数や建設機材が減少しており、復旧活動への貢献に不安を感じている。</li> </ul>
2	苫小牧漁業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生後、小型船を沖合に避難させたが、津波を想定しておらず、食糧などの準備も不十分であった。</li> <li>・上記を受けて、沖合避難時のための食料を積みこむよう指導しているが、今後こうした指導や勉強会が必要だと考えている。</li> </ul>
3	苫小牧港外貿コンテナ事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生後、東港は孤立しており、非常不安に感じた。</li> <li>・東港の津波において、あと30~40cm水位が上昇していれば、コンテナが流出していただろう。想像すると恐ろしい。</li> <li>・また、海上保安庁からFAXが送付されたが、地震発生を伝えるのみであり、避難方法等の情報はわからなかったので、ぜひ連絡体制を確立してほしい。</li> </ul>

4	協同組合苫小牧 タグセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員に津波が来る直前まで作業をさせてしまったが、一歩間違えればタグボートや大型船が座礁する恐れがあった。津波の状況を甘く考えていたことが反省点として挙げられる。</li> <li>・上記を受けて、まずは人材とタグボートを沖合に避難させて戦力を温存し、復旧活動に備えることが重要だと感じた。</li> <li>・また、タグボートは一隻で完結できるように、燃料や水、無線機等を装備させるようにした。</li> </ul>
5	苫小牧水先区水先人会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西港では、第2波の津波も来て危ない目にあった。</li> <li>・水先人は、大型船からの依頼があって初めて動くことができるため、危険を感じても自己判断で行動しにくい。地震発生後は、エンジントラブルで動けない大型船に留まるよう依頼され、津波が近づいていても逃げられない状況があった。</li> </ul>
6	道央船主協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2003年十勝沖地震を含めて、大規模災害の場合は大変混乱し、何をどうしたら良いのか分からなかった。</li> <li>・ただし、荷役を待つことはできないため、復旧の目処が立たない場合は諦めて他の港湾での荷役を検討することも必要だと感じた。</li> </ul>
7	北海道港運協会 苫小牧支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災時の経験上、津波警報が出ている場合は、社員の避難が最優先であると感じた。</li> </ul>
8	札幌入国管理局 千歳苫小牧出張所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入管としてBCPは持っているが、東日本大震災の際にはあまり役に立たなかった。</li> <li>・上部組織からの要請や指示が飛び交う状況では、BCPを読み返す余裕がなかった。</li> </ul>
9	横浜植物防疫所札幌支 所室蘭・苫小牧出張所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉港では津波被害はなかったが、液状化現象で一部が機能しなくなった。</li> </ul>
10	北海道開発局 室蘭開発建設部築港課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭港に防災フロートというものがあり、東日本大震災の際は相馬港で活用した。</li> </ul>
11	苫小牧海上保安署	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海上保安庁の巡視船には、船舶電話が付いているが、衛星電話を使っている。</li> <li>・地震後、沿岸で電話が通じたのは久慈港だけであり、他エリアでは、携帯キャリアは使用できなかった。</li> </ul>